

平成25年度 ISO/TC46/SC11国内委員会第1回委員
会
議事
録

1 日時 : 平成25年 7月31日(水) 10:00~12:20

2 場所 : 文京シビックセンター5階 区民会議室 会議室 B

3 出席者 : 委員 保坂 裕興 学習院大学(SC11 リーダ)
小島 博之 (特)行政文書管理改善機構
西川 康男 ARMA International 東京支部
寺下 陽介 東芝ソリューション(株)
榎林 幸一 (社)日本画像情報マネジメント協会
原田 久義 国立国会図書館
長谷川 英重 OMC アンパセダ(TC171 リエゾン)
中島 康比古 国立公文書館
黒田 裕芳 株式会社リコー
宮澤 彰 国立情報学研究所(欠席)
関係者 亀山 孝広 経済産業省(欠席)
オブザーバ 木元 和宏 一般財団法人日本規格協会
事務局 光富 健一 一般社団法人情報科学技術協会
事務局 鈴木 吉之 一般社団法人情報科学技術協会(欠席)

(敬称略・順不同)

4 配布資料 : 平成25年度第1回 ISO/TC46/SC11国内委員会開催案内
平成25年度 ISO/TC46/SC11国内委員会 第3回委員会議事録
(資料1)平成25年度実施計画
(資料2)平成25年度の委員会構成(案)
(資料3)平成25年度 ISO/TC46/SC11 投票報告
(資料4)2013年 SC11 パリ総会報告(別紙を含む)

5 議事 : 事務局より配布資料の確認を行い、保坂

リーダーにより議事を進行

5-1) 委員紹介 自己紹介
を行った。

5-2) 前回議事録の確認 配布資料をもとに確
認し、承認された。

5-3) 平成25年度 ISO/TC46/SC11国内委員会について 資料1及び資料2をもとに、平成25年度
実施計画書及び委員会構成について確認し、承認された。

5-4) 平成25年度 ISO/TC46/SC11 投票報告 保坂リーダーから資料3をもとに、5件とも賛成/承
認する投票を行ったことが報告され、承認され
た。

5-5) 平成25年度 ISO/TC46/SC11 審議案件について

当日時点での審議案件なし。

5-6) ISO/TC46/SC11 総会（パリ）状況報告

保坂リーダーより資料4「2013年 SC11 パリ総会報告」及び別紙「第29回 ISO/TC46/SC11 『アーカイブズ/記録管理』総会決議録」をもとに報告がなされた。以下、質疑応答により明らかになった点を補足する。

- ・WG13はISO15489定期見直しを担当するWGである。
- ・参加者は約50名。
- ・旅費等について、今回は公的費用が使われなかった。今後は公的費用負担が望ましい。
- ・ISO30300-MSRシリーズの決議内容は決議1～6を参照。
- ・決議3のISO30302 MSRの実施ガイドラインは最終的なものではなく、DIS投票に向けた準備段階のものである。ISO化は2015年の見込みである。
- ・WG12解散（上記報告）は、TR（技術報告書）を発行したことによる。

5-7) その他

本年度より議事録作成は委員が行うこととされた。毎回2人ずつの持ち回りとする（実際の順序は委員会冒頭）。

ISO/TCサーバに掲載されるN文書等については、事務局が共用ファイルサーバに保存・蓄積し、委員が利用できるようにする。

これに関する具体的利用方法及びメーリングリストに登録されたアドレスについて確認を行い、事務局から各委員に送付することとする。

前回議事録の議事5-2 公文書管理法との関係等について質疑応答が行われ、次のように話合った。

- ・ISO15489-1の改定やISO30300等のISのJIS化に関する進捗状況を確認・検討したい。
- ・公文書管理法とISO30300及び同30301の整合性に関し、報告資料の提出はなかった。
- ・この委員会で公文書管理法との関係を検討し、METIとの情報交換及び打ち合わせを着実に進める必要がある。
- ・このため、特にISO30300及び同30301の日本語化が必要となる。下訳作成の外注は困難なので、委員が分担して日本語資料を作成する。委員会合意。
- ・日本語資料作成作業の分担は、保坂リーダーがメーリングリストにより通知する。
- ・JIS化については状況が変化してきているので、慎重に進める必要がある。目標自体を再検討することも必要ではないかとの意見があった。一方、ISO15489は様々な分野でますます重要な役割を果たしているのであり、日本語で利用できる態勢を作り出し、それを堅持していくことが重要であるとの意見が複数出された。
- ・日本語資料の作成作業及びMETIとの連絡調整等は、保坂リーダーが担当となって進めることとした。